

芙蓉

vol. 64

2019.4月 発行



社会福祉法人 芙蓉会

〒417-0001 静岡県富士市今泉2220番地

TEL (0545) 52-0402 FAX (0545) 55-1119

<http://www.fuyoukai.org>

児童養護施設	ひまわり園	TEL.0545-52-0402
地域小規模児童養護施設	ひろみ園	TEL.0545-22-1281
乳児院	恩賜記念みどり園	TEL.0545-53-5665
特別養護老人ホーム	みぎわ園	TEL.0545-55-1800
ショートステイ	みぎわ園	TEL.0545-55-1877
通所介護	デイサービスセンターみぎわ園	TEL.0545-55-1800
通所介護	ふようデイサービスセンター	TEL.0545-52-1397
居宅介護支援事業	ふよう居宅介護支援事業所	TEL.0545-52-5500
地域包括支援センター	富士市吉原西部地域包括支援センター	TEL.0545-30-8324
在宅介護支援センター	みぎわ園	TEL.0545-55-1811
複合型サービス	みぎわの里	TEL.0545-30-7952

「感謝」って

特別養護老人ホームみぎわ園 佐々木 孝

雨水(24節気の一つ)が過ぎ、寒い冬からそろそろ体もほぐれ春へと向かう温かい心持を感じるこの時季に、千葉県野田市での10歳にもなる女子が父親の虐待、暴力に、「死」に至るといった痛ましいニュースが聞こえてきました。事の真相も刑事事件として紐解きながら女の子を守れなかった児童相談所、教育委員会、学校の先生と場面を変え、事件の発端を探ろうとしています。

「かわいそうにね」「何故守れなかったの」「訴えていたのに何故」等々、世間の悲痛な思いや激怒、やるせないとした街の音がそここににあります。

今回の事件を考える時、「しつけ」のためと言って何時間も起したままでの折檻の繰り返しは暴力に他なく、また父親の自己防衛とも取れる子供に書かせたメッセージであったりと、親のエゴイズムによる非道さと、自己中心的で虚栄心のみでの行動が平然と繰り返されている事に不安と共に寂しくも感じます。年齢を重ねた私として、育った環境もあるでしょうが、敗戦からの軍隊帰りの父親は虚無感と激しさ、また厳しく、戦争からの痛手と復興への思いと貧しく生活する時代、事あるたびに父親からの折檻は、平手でのビンタが飛び、その痛みの中に憎しみさえも感じたものです。その当時の事を家族に話す時、

殴った父親自身のその右手が痛みを感じていたのではないかと思う事です。数日後母親から「父さんがお前にとって」と言って腕時計を渡された記憶があります。父の切ない想いと申し訳なさなのか「ごめんな痛かったか」との心であったのか、今でも父親の何とも言い難い愛のメッセージを感じています。

本来の「しつけ」とは漢字で『躰』とも書き身をきれいに保つとして、礼儀作法を身に付けさせる、又身に付いた礼儀作法、生地を縫う時運針が曲がらない様に仮に縫う事と広辞苑には載っています。

お年寄りに接して仕事する若い仲間に、この仕事に就きたいと思った時の問いかけに、多くが「ありがとうね」、物言わず「感謝の何とも笑顔の優しく笑ったその眼」に介護への達成した喜びが大きいですとの返事でありました。長く歴史を生き、せせこましい世の中にあっても、多くの年寄さん達の「躰」身の綺麗さは、多くの人と接して学んだ集大成がそこにあるように思います。

子供達の多くもこれから大勢の人と社会の波の中で揉まれ、作られていくものであって、それらの環境を私達は真剣に守っていく役目を再認識しています。

デイサービスセンターみぎわ園



吉原から岳南電車に乗って比奈まで行って来ました。湧水公園の鯉や鴨に餌をやったり、公園を散策した後、レトロな雰囲気漂う駄菓子屋さん立ち寄りお土産を買って帰りました。

行ってきまーす!



たくさん買ってわ〜



よ〜く混ぜて

「本格的に寒くなる前に…」と少人数ずつで外食に行きました。甘いものが好きな男性陣は不二家に。「美味しいお寿司が食べたい!」という女性陣は回転寿司に。



どれにしよう...迷うな〜



完成!



美味しゅうでしょ

ふようデイサービスセンター

★焼きそば作り

毎月の利用者で作るお楽しみ献立。「焼きそば」作りが開催されました。皆様手際が良いこと。あっという間においしい焼きそばができました。



★初詣

毎年恒例の三日市浅間神社の初詣。皆様思い思いに願い事をお祈りし、お守りも買いました。お守りはもちろん「健康」お守り!

★今月の作品作り 「だるまさん」

毘沙門天に売りに出そうかなと思うくらいの上出来でした。



★フラダンスボランティア

フラダンスのボランティアが来てくれました。「アロハ」利用者も一緒に踊り、楽しい時間を過ごしました。



★フルナハープ ボランティア

ルナハープの音色に利用者の皆様、聴き入っていました。



みぎわの里



ボランティアの皆さん

1月、様々なレクリエーションで賑やかに新年をスタートしました。

2月、節分で豆まきをし、1年の無病息災を願いました。

また、ボランティアの皆様のご協力により、普段の生活に彩りを添えて頂いています。



節分



オカリナグループ『風』



マジック研究会『クローバーズ』



お正月



福



みぎわ園



1年の始まり、三日市浅間神社で初詣。元気に過ごせますように!



2月は園の豆まき。

皆で作ったお面は個性豊か、豆の代わりにボールを「えい!」

とても真剣に投げる方や遠慮がちに投げる方とさまざまな顔が見られました。



昨年度もたくさんの方々のご支援を頂きました。
 納得住宅工房様、富士中央ライオンズクラブ様、富士防犯協会
 様、フロンティアジャパン様、ADEKA様、ワールドメイト様、ま
 かいの牧場様、グッドファミリー様、富士豪傑フォーラム様、
 KAGEBOUSHI様、たくさんのご支援ありがとうございました。



富士中央ライオンズクラブ様



グッドファミリー様

やきとりも子どもたちから
 大好評!

お菓子をたくさん
 もらいました

いつも
 ありがとう

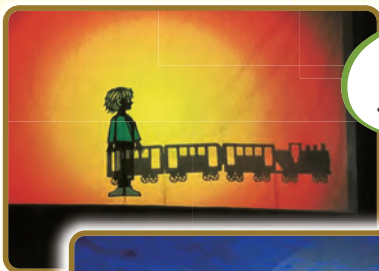


まかいの牧場様



富士防犯協会様

年齢ごとに分かれて
 防犯について学びました



たくさんの動物に
 ふれあうことができました



卒園生に就職支援金を
 頂きました

富士豪傑フォーラム様



KAGEBOUSHI様

子どもも大人も夢中になって
 見ていました



納得住宅工房様

東京ディズニーシー☆
 いい思い出が作れました

みどり園

【12月】

〈クリスマス会〉

12月にはクリスマス会をしました。子ども達はパネルを使ったおはなしを見たり、手作り楽器を持ち、クリスマスソングに合わせてみんなで演奏をしたりしました。そして鈴の音が聞こえてくると現れたのはプレゼントを持ったサンタさん!サンタさんから一人一人プレゼントをもらってみんな嬉しそうにプレゼントのおもちゃで遊んでいました。



お昼ご飯はトナカイのパンに大きなクリスマスツリーのケーキ!みんなたくさんおかわりをしていました。

そして、クリスマスプレゼントにすべり台とボールプールを寄付していただきました。子ども達みんな嬉しそうに遊んでいます。



MERRY CHRISTMAS

【1月】

〈お楽しみ会〉

アンパンマンの福笑いを作りました。みんな上手にアンパンマンの顔を作ることが出来ました!

その後は、外に出て凧揚げをしました。最初は難しく飛ばなかった凧も、コツを掴むと高く飛ばすことが出来ました!

昼食のアンパンマンのおにぎりも嬉しそうに食べていました。



ひろみ

年末にまちづくりセンターで行なわれた書き初めに、小学生4名が参加させていただきました。日頃お世話になっているボランティアさんに一緒に筆を持ってもらいながら、書き方のコツを教わりたくさん練習をしました。最後まで集中力を切らすことなく、力強く立派な字が書けました。



「自分を愛するように隣人を愛しなさい」

「子どもとお年寄りの幸せのために」

【みどり園、ひまわり園】

厚生労働省の指導する新たな社会的養育ビジョンに求められる乳児院、養護施設の将来像を考慮し、新規事業や園舎の建設の準備を進めます。子どもの最善の利益の保障と権利を守り、生活を営む主役である子どもたちが、日常生活において主体的に考え取り組むことができるように支援します。

【みざわ園】

みざわ園として今後における介護保険事情を推察するに、当初2025年(団塊世代の介護保険需要期)とした高齢者支援行政も改革プランの練直しが進んでいます。この様な中、若年層世代の減少に伴う介護人材不足は深刻な問題であり、その補充に向けた施設としての手段、方向性を真剣に検討すべき時であります。処遇改善、人材育英、介護ロボット・IoTの活用、施設環境の魅力作り、そして外国人材の登用等働き方改革の下での整備を進める年度となっている様に思います。日々努力する介護職員の健康と心の安定を守り、安心して介護サービスを提供したく思います。

【法人本部】

社会福祉法人芙蓉会は2019年6月で創立116周年を迎えます。法人理念の下、地域社会との信頼関係を構築し、質の向上とガバナンスを高めていくことが重要と考えており、更なる透明性(情報公開)・倫理性(苦情解決)・組織性(内部監査・監事監査・外部監査)の積極的な取り組み姿勢、労務管理、地域貢献活動(買い物困難者への支援事業)の実践を推進して参ります。今年度は、新任職員研修及び中堅職員研修と新たに管理職・指導職員を対象とした立石雅世弁護士と塩谷知一弁護士による「職場におけるハラスメント」について研修を2回開催して働きやすく魅力ある職場づくりと職員の資質向上に努めより質の高いサービス提供を目指して参ります。さらに、良質な福祉サービスの継続的な提供に向けて、人材確保、育成、定着が最重要課題となっております「福祉の仕事の魅力」の発信(WEBの有意義な活用等)に向けて不断の努力を重ねて参ります。

2019年4月1日より「働き方改革関連法」が施行されることになり、当法人においても早急な対応(年5日の年次有給休暇の確実な取得の義務化に伴う就業規則の整備、時間外労働の上限規制「労働時間の適正把握の義務化」)を進めて参ります。

また、社会福祉法人に対する会計監査は、社会福祉法人制度改革の柱の一つである「経営組織のガバナンスの強化」として導入されましたが、今回、社会福祉法人の監査準備期間等を考慮し、2019年度からの段階的導入に延期されることになりました。今回の延期は、会計監査を意義あるものとして、より円滑に制度に組み込むことを意図(1.内部統制の問題の所在の認識、改善点の明確化、2.自法人の強みや弱みの明確化、3.法人の経理担当者の実務能力向上)として決定されたものと推察しております。この時間的余裕を有効に活用し、会計監査を適切に導入する準備(2020年度)を進めて参りたいと考えております。

【児童養護施設 ひまわり園】

2017年8月2日に塩崎厚生労働大臣の下で発表された「新しい社会的養育ビジョン」の実現に向けて、国は2019年度末までに「都道府県社会的養育推進計画」を策定するよう各都道府県に通知しました。その策定に向けて、社会的養護の関係施設は具体的な計画策定を求められることになると思われます。児童養護施設に求められる内容は以下の通りです。

1.「小規模かつ地域分散化、高機能化及び多機能化・機能転換」に向けた計画策定

- ①小規模かつ地域分散化の原則
 - 小規模かつ地域分散化
 - 小規模かつ地域分散化の例外としての生活単位の集合(4人程度の生活単位とし、概ね4単位程度まで)
- ②高機能化
 - 小規模かつ地域分散化された施設におけるケアニーズの高い子どもの養育体制の充実
 - 小規模かつ地域分散化の例外としての生活単位の集合における、ケアニーズが非常に高い子どもの養育体制の充実
 - ※小規模且つ地域分散化した施設との連携やこれらに対する専門的な支援も含まれる。
 - 入所している子どもの早期の家庭復帰や養子縁組、里親委託の推進
- ③多機能化、機能転換
 - 一時保護委託の受け入れ体制の整備
 - 養子縁組支援やフォスティング機関の受託等の里親支援機能の強化
 - 在宅支援や特定妊婦の支援強化等

2.各施設の計画に盛り込まねばならないもの

- ①施設内養育に関し、以下の項目の箇所数及び定員
 - 2018年度末現在から2029年度末までの各年度末時点の見込み
- ②高機能化に向けた取組内容、及びこれらの実施予定時期
- ③多機能化、機能転換に向けての取組内容、及びこれらの実施予定時期
- ④人材育成計画

2019年度は、これらに向けた具体的計画を立てるべく、検討を進めたいと考えています。ただ、残念ながら近年は職員確保に苦勞しており、2019年度も応募者が少なく計画していた職員数に届かなかったため1ユニットを閉鎖せざるを得なくなりました。労働基準法を遵守した上で小規模化を進めるためには、人材確保は最重要課題となります。

また、2019年度は3年に1度義務づけられた「第三者評価」を受審する年でもあります。社会的に問題となっている児童虐待等により保護された子どもたちの権利を擁護すると共に、前回評価で指摘された改善すべき内容を職員間で共有しながら、子どもの育成、家庭支援、里親支援等に努めます。

【地域小規模児童養護施設ひろみ】(ひまわり園加算事業)

本体施設の支援のもと、地域の中での生活体験を基盤に、家庭的な環境の中で、より個別的な関わりを持ちながら、個別のニーズに沿った支援を提供することを目指します。

本体施設から高校生2名が移行してきます。本体施設の支援のもと、児童相談所や学校などと連携し、落ち着いた生活が送れるように支援していきます。また自立へ向けて、計画的で効果的な自立支援を実施していきます。

年度末に1名が就職自立しました。安定した生活が送れるように、アフターケアについて具体

的な計画を立て、関係機関と連携し実施していきます。

また地域のボランティアの方との関わりや、地域のイベントに参加することで、地域との関わりに広がりが出てきました。引き続き、地域の行事や日常の関わりを通して、施設への理解や関係が深まるよう努めていくと同時に、地域で生活をしている児童福祉施設が、地域の福祉や、まちづくりにどう関わっていくのか、何が出来るのか、職員で考えていきます。

2019年度は本体施設の支援のもと、以下の基本目標に基づき、職員の技能向上および児童養護サービスの向上に努め、安全で安心な暮らしを子どもたちに保障し、社会的自立並びに家族再統合に向けて、関係機関、地域、学校、保護者と連携・協働して事業を推進します。

【恩賜記念みどり園】

改正児童福祉法や、その理念を具現化するために2017年8月に示された「新しい社会的養育ビジョン」では乳児院・児童養護施設等には、新ビジョンの家庭養育優先の原則を進める上で、施設での養育を必要とするケアニーズの高い子ども達の養育や、実親支援等に関して、施設の高機能化等を図り、専門性を高めてさらなる家庭復帰、親子再統合を図っていくとともに、里親や特別養子縁組を含む在宅家庭への支援を行うこと等、児童福祉施設の高機能化及び多機能化、小規模化・地域分散化を強く求めています。

国はこの新ビジョンを基に、各都道府県に対し各々の推進計画を2019年度末迄に策定することを求め、これを受けた都道府県では、計画の作成に向けて社会的養育を担う児童福祉施設への意見聴取が取行されています。

新ビジョンに示された、より家庭的な養育環境とされる分園型小規模グループケアや地域分散という課題にどのように取り組むのでしょうか?現行の職員配置で計画を進めると、職員が一人で勤務をする時間が非常に多く、子ども達の安心や安全が守れない状況が予想され、国の示すより家庭的な環境への移行が難しいと思われます。

また、機能強化や多機能化についても、より関わりやすいハイリスクな乳幼児を対象とする中で、現行の年齢別の保護単価では、何が何処までできるのか皆目見当がつかない状況です。

このような状況の中で、今後みどり園が目指すものの方向性を確立するとともに、みどり園を必要としている子ども達の安心や安全を守ること、また巣立っていった子ども達の足跡を守る家庭に変わる場所としての役割を保つこと、小規模化を考慮した養育環境の整備を行い、地域の家庭支援を中心としたニーズに応えられるような施設機能の強化等を目指して、別添え資料の事業を進めます。

また、一昨年購入した園舎北側の土地での分園型小規模グループケアを中心とした施設の建設計画を進め、実施可能な付帯事業についても行政機関との検討を進める等、事業開始に向けて計画を作成すると共に、必要な人材の確保や養成についても着手していきたく思います。定員は乳児30名ですが、入所児童の減少から暫定定員での事業が予想されるため、必要に応じて積立金を取り崩して事業を実施します。

【特別養護老人ホームみざわ園】

本年度は、年度明けには新天皇即位の祝い、これに伴う新元号の改名、東京オリンピックの開催を残り1年とした動きの中で、世情を取り巻く情勢は目まぐるしく変化して行くと思われれます。加えて、国際情勢も米国(USA)に発端とする貿易摩擦解消に向けた協議の行方次第では、日本経済にも大きく影響を与え兼ねないとする連鎖が福祉環境にも大いに心配されるところです。

このような中、日本の高齢者人口と同介護との関係性に於いて2025年とした高齢者支援情勢を2035年としてクローズアップされてきました。

しかし、これに逆行するように若年人口の減少に伴う介護の担い手不足が深刻であって介護現場に於いて疲弊した状態が懸念されます。これを補填するとして外国人派遣労働者(東南アジアEPA経済連携による特定技能者研修生派遣制度)の登用への門戸も国の施策の下では中身が薄く、現法制度の下では、受け皿とした具体策が丸投げ状態でもあります。派遣受託費用の問題、N3(日本語検定)の研修と取得状態、有資格取得に向けた研修制度、3年とした滞在期間等、継続性を持っての介護労働者補充に妥当性が見出せるのかが不安でもあり、今後十分な検討の必要があります。

このような中あっても待たなしの介護現場に於いては、職員の心身の健康を保つ工夫が急務でもあります。この担い手ではIoT(internet of things)のサポートを借りるとしての研究が大きな検討課題となると感じています。

また、10月導入がほぼ決定されていく消費税10%導入は、経営環境に大きく影響し、人件費、設備整備費、仕入れ価格等全てに関わる物品への経費1.1倍は、どのように介護事業経営の中でクリアさせて行くかが最大の問題でもあります。

次世代に向けた老人介護支援整備も併せて中期計画に沿って、31年度の計画として進める必要性を視野に進めます。

東南海地震、風雨災害に備えるべく非常用設備整備も緊急性を帯び、又富士市より委託を受けた震災時における「福祉避難所」としての整備も併せて進める費用対応が求められてきています。いずれにしろ費用対効果を見据え、情勢を判断しながら進めるとした本年度事業計画となります。

